

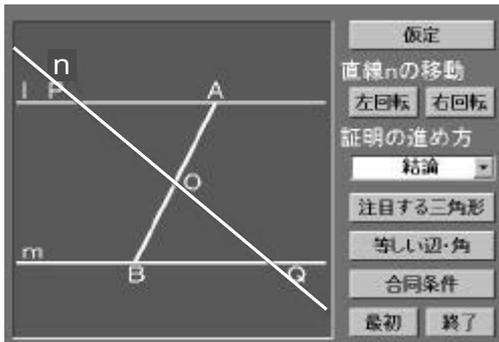


三角形の合同条件を使った証明の手順を理解するには

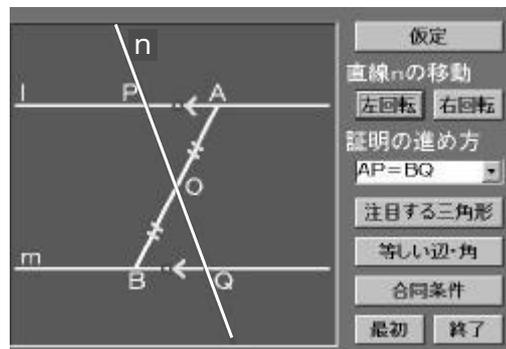
24150 証明の進め方

平行線に交わる2直線について、「仮定」や「結論」「注目する三角形」等を、順に示しながら、証明していくための手順を示していくことのできるソフトである。

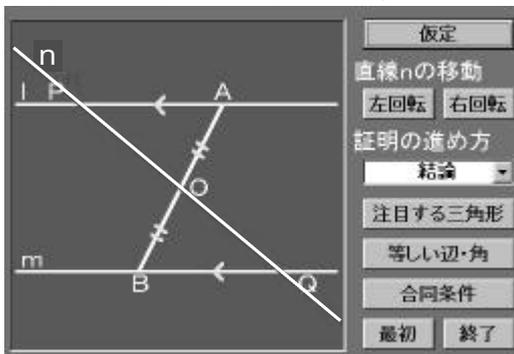
初期画面



「右回転」「左回転」をクリックすると直線 n が直線 A B との交点を中心に、回転する。



「仮定」をクリックすると、画面に仮定の内容が印で表示される。



(仮定  $l \parallel m, \angle A = \angle B$ )

等しくなりそうな辺の長さや角の大きさを見つけさせたい。

証明できそうな結論を決め、注目する三角形や、等しい辺や角を確認しながら、証明を進めさせる。

仮定から結論までを、筋道立ててノートに記述させる。

VGA (640 × 480) 版あり

ポイント

結論が2通り考えられるが、途中の手順は同じである。ここで図形における証明の進め方の手順を、きちんと把握させたい。